



岡山県原水協通信

2011年10月7日 No186
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島田町4-25
TEL086-244-4526 (F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

6・9行動 「国連で評価された署名です」

岡山県原水協と岡山市原水協は10月6日、10月度（第41回目）の6・9行動を行いました。

お昼休みの行動でしたが県労会議、自治労連、県医労連、県民医連、人権連、岡山市職労、共産党などから18人が参加し市民にピウを配布し、署名を訴えました。

中尾代表理事は「10月3日から国連第1委員会が始まり、いよいよ核兵器禁止条約の議論が始まりました。ドゥアルテ上級代表は、核兵器廃絶の運動として原水協などの草の根の活動を高く評価する演説を行いました。原水協の代表が国連を訪問し、この瞬間にもみなさんから



いただいた署名をとどけています。102万筆のなかの2万筆は岡山県民のみなさんの署名です。草の根の署名の力が国際政治を動かします。引き続き署名のご協力を」とよびかけました。30分余の行動で10筆の署名がよせられました。

署名22,838筆に 軍縮週間署名行動は28日に

「核兵器全面禁止のアピール」署名が10月6日現在22,838筆になりました。昨年のNPT再検討会議以降、今年の2月15日から開始された署名をあわせた合計です。

県原水協は国連軍縮週間記念宣伝署名行動を10月28日〔金〕に岡山駅前で行います。核兵器禁止条約の交渉開始を求め被爆国日本の運動をさらに大きく進めましょう。



国連・ドゥアルテ上級代表 核兵器廃絶で 日本原水協などの運動を高く評価

10月3日、国連総会第1委員会の冒頭、セルジオ・ドゥアルテ軍縮担当上級代表が声明を読み上げました。声明は「日本原水協」と明言して署名提出を評価し、続いてこの間の2つの特徴として民主主義革命と法の支配をあげ、軍縮分野の民主主義として、上記の活動を評価、さらに、安全保障などを核軍縮の条件にする議論を批判し軍縮によって平和を築くようよびかけました。

日本原水協国連要請代表団（16名・高草木博団長）は、第1委員会の傍聴に続いて、4日にはドゥアルテ軍縮担当上級代表と面談、5日（日本時間6日午前）には国連総会議場で第1委員会議長とドゥアルテ上級代表に署名を提出しました。（日本原水協情報より） 左写真は2010年NY行動で署名を受け取るドゥアルテ氏